



キーワード	貧困・格差 子ども 啓発	活動地域	全国・広域
事業名	子どもの貧困支援活動ネットワーク化促進事業		
事業年度	平成 24 年度	助成金額	3,519 千円
団体名	「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワーク		
所在地	〒352-8558 埼玉県新座市北野 1-2-26 立教大学コミュニティ福祉学部 湯澤直美研究室 TEL 070-6576-3495		
団体HP	http://end-childpoverty.jp/		

事業の背景

- ◆日本ではここ数年、相対的貧困率の悪化とともに、子どもの貧困問題への社会的関心の広がりが見られるようになりました。この関心の高さとともに、低所得者層の子どもへの学習支援等に取り組む個人や支援団体が各地で生まれ、それぞれ独自の活動が進められています。
- ◆このような支援者の方々は、活動の継続や発展の手法に課題を抱えたまま活動している状況であり、活動実態の把握や支援している情報をつなぐ手立てが乏しい状況でした。
- ◆そこで、この団体では、低所得世帯の子どもに対する支援情報や実践方法、課題などを共有する仕組みづくりと、「子どもの貧困」問題の実践者をつなぐネットワークの構築に取り組まれました。

事業の概要

- ◆この事業では、平成 22 年度からの「子どもの貧困」問題をサポートするための普及活動を土台として、各地の支援者が会する「暮らしサポート実践学習会」や「学びと暮らしサポート全国実践交流会」を開催しています。多分野の支援者が出会う機会を提供するとともに、各地の支援者がどのように活動し、いま何が課題となっているかを学び合うことで、支援者同士が「子どもの貧困」問題の解決に向けて相互補完できる関係が作られています。
- ◆また、貧困に直面している家庭や支援者に向けて、生活支援情報を提供する Web コンテンツを作成したことで情報の取得がしやすくなり、生活課題の解決の促進が期待できます。
- ◆助成事業の実施によって、各地で「子どもの貧困」問題に取り組む活動が広がるとともに、大学生等の担い手が自らネットワークを組織化するなど、新しい動きにつながっています。

活動報告書
[<クリック!>](#)

ここに注目！

- ☞ 「子どもの貧困」問題に取り組む支援者同士が、学習支援や生活支援などのノウハウ・課題を共有することで、「貧困の連鎖」を断ち切るためのネットワークに発展しています。